

事務事業名	公共施設解体撤去事業		所属部	総務部	所属課	管財課
総合計画体系	政策名	〈I〉みんなで築くまち〈協働・行政経営〉		所属G	財産管理監視G	課長名 富山照夫
	施策名	〈05〉時代にあった行政サービスの実現		担当者名	深田貴之	電話番号 0854-40-1025 (内線) 2373
	目的・対象	A)市民 B)行政機能	意図	公平で効率的なサービスを受ける(提供する)。		
	基本事業	〈012〉業務と組織機構の効率化		予算科目	0:1:1:0:0:8 0:5:3:0:0:3	大事業名 公共施設管理事業 中事業名 公共施設解体撤去事業
目的・対象	行政機能	意図	効率的な組織機構で効果的な行政サービスを提供する。			

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
元庁舎施設である普通財産	①役割を終えた建物を解体し、次の用途へ転換する。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返( 年度～ ) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( R03 年度～ R06 年度 )	元庁舎施設の解体・整備、引継ぎ部局への引き渡し
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R3年度実績(R3年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
・元大東センター解体(担当) ・元掛合センター解体準備(担当) ・その他の施設解体準備(所管替により、木次団地:建築住宅課、元三刀屋センター:三刀屋自治振興課、掛合農林産物加工場:林業畜産課)	解体後の跡地の取扱いを議論し、できるだけスムーズに解体に着手できるように努めた来た。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(計画)
ア 事業委託	千円	0	0	9,095	0
イ 工事請負費	千円	0	0	84,557	127,880
ウ 減少した建物面積	m <sup>2</sup>	0	0	1,953	1,747
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R3年度決算)	② コストの推移	単位	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(計画)	
元大東センター:88,497千円	財源内訳	国庫支出金	千円				
元掛合センター:3,721千円		県支出金	千円				
---		地方債	千円	0	0	83,800	121,400
木次団地1,007千円		その他	千円	0	0	0	6,400
元三刀屋センター:643千円		一般財源	千円	0	0	10,596	80
掛合農林産物加工場:528千円	事業費計	千円	0	0	94,396	127,880	
起債:合併特例債							

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	町役場であった元センターは、建物として大きく解体費用が掛かることから進んでいなかったが、解体し、新たな用途へ生まれ変わることで利活用を図っている。
② 事業実施するうえでの課題	有害物質調査等法規制が年々厳しくなり、これに伴う費用の増加が著しい。
③ 課題解決に向けた改革改善等	市全体で公共施設解体が進む中で、財産の処分や利活用に向けた取り組み。